

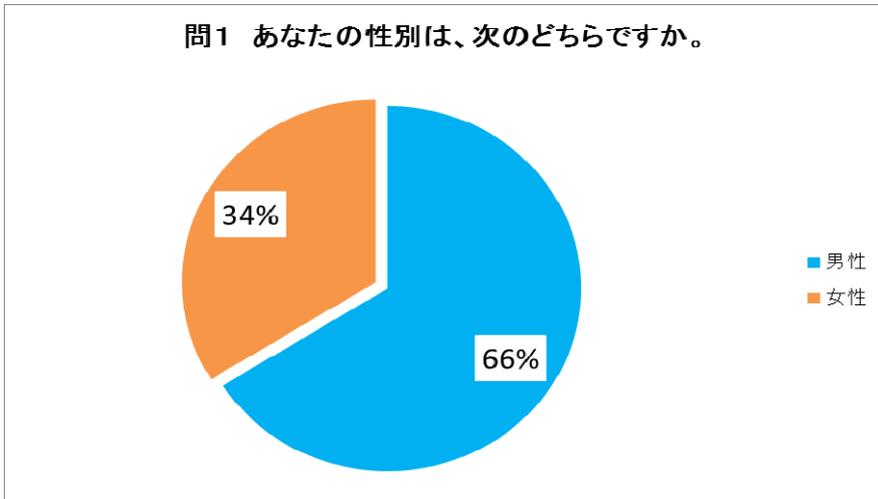
事後評価アンケート結果

整理番号	H28 - 2
------	---------

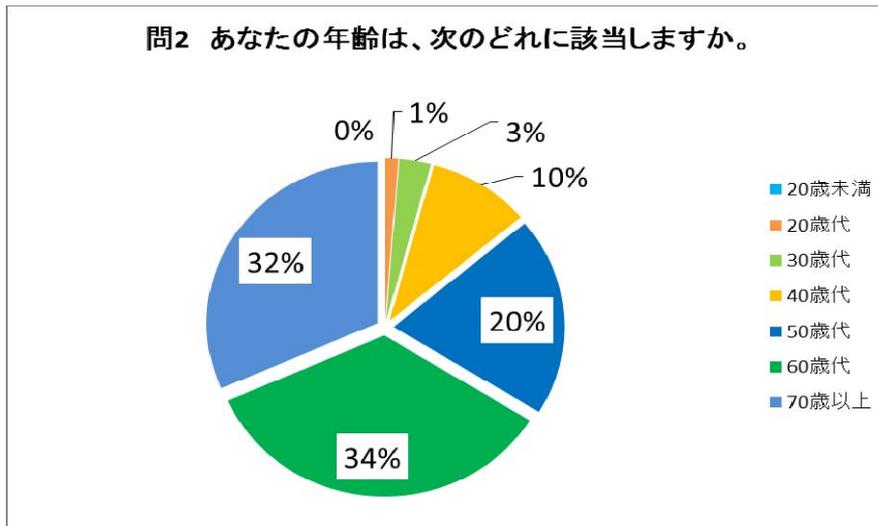
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川
-----	----------	------	-----

アンケート対象	当該河川に隣接する町内会の構成世帯		
配布方法	委託業者による直接配付	(配布部数)	1,200 部
回収方法	郵送(受取人払)により回収	(回収部数)	493 部
回収率	41%		
アンケート結果			

問1【性別】 有効回答数492



問2【年齢層】 有効回答数493



事後評価アンケート結果

整理番号	H28 - 2
------	---------

事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川
-----	----------	------	-----

アンケート結果

問3【お住まい】 有効回答数491

問3 あなたのお住まいは、次のどの町内会に該当しますか。

町内会	割合
白旗野	7%
新城上町	4%
新城下町	3%
新井田	7%
北平岡	29%
石江高間	9%
新城中町	6%
八雲	7%
石神	4%
新城大坂	16%
平岡	4%
新田	4%

問4【居住時期】 有効回答数491

問4 今の場所にお住まいになられた時期をお教えてください。

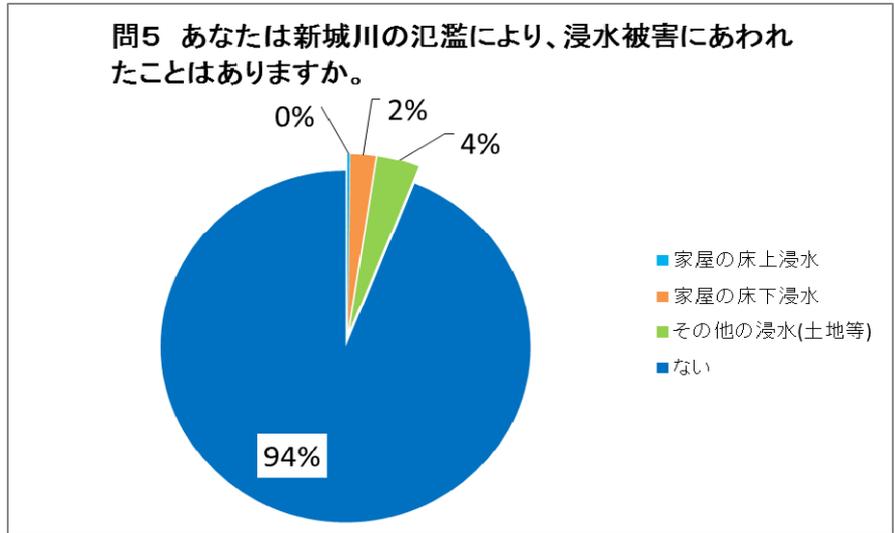
居住時期	割合
昭和40年以前	29%
昭和41年～昭和52年	23%
昭和53年～平成6年	24%
平成7年～平成23年	21%
平成24年以降	3%

事後評価アンケート結果

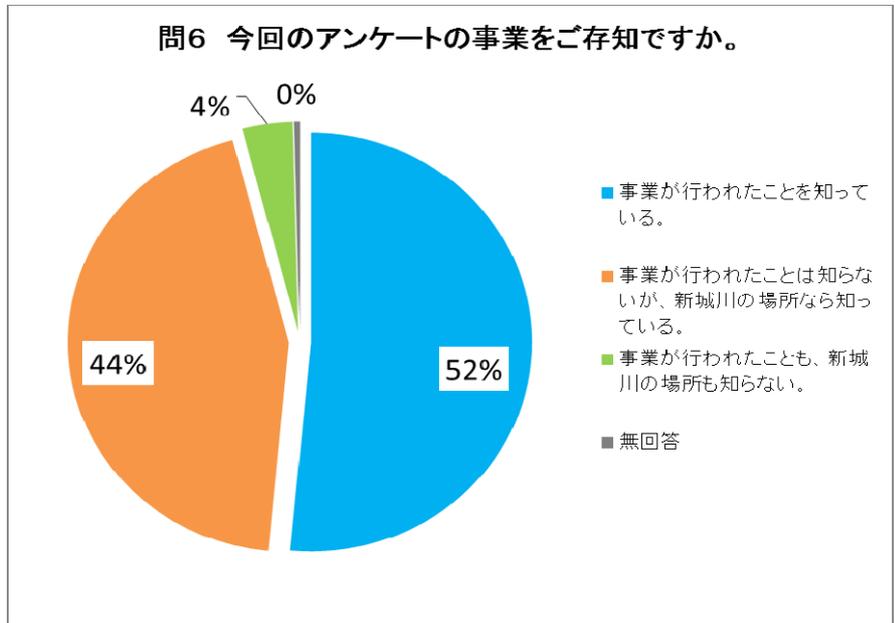
整理番号	H28 - 2
事業名	総合流域防災事業
箇所名等	新城川

アンケート結果

問5【被災履歴】 有効回答数491



問6【認知度】 有効回答数491
「事業が行われたことも、場所も知らない」を選択された方は問14【その他意見(公共事業全般)】にお進み下さい。



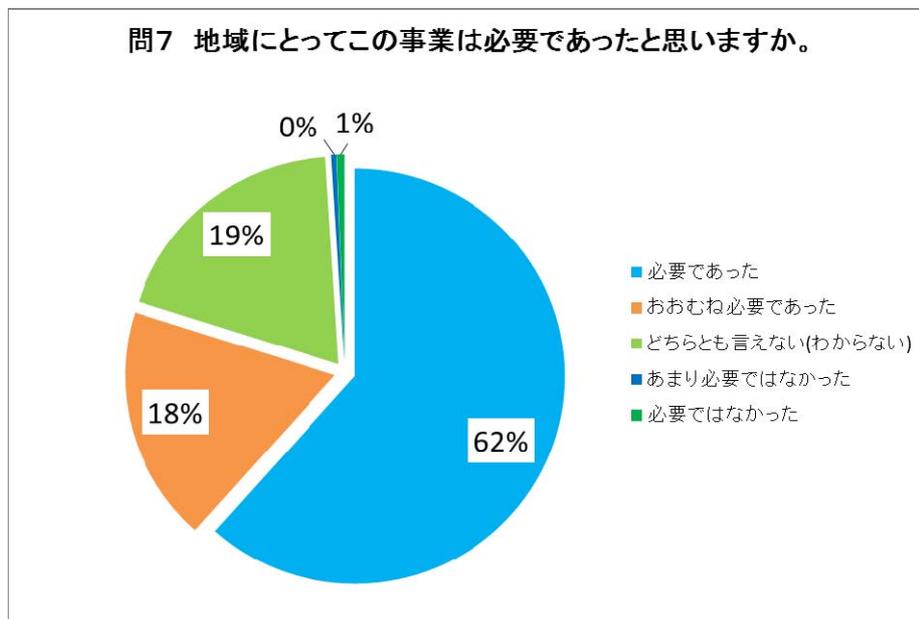
事後評価アンケート結果

整理番号	H28 - 2		
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川

アンケート結果

問7【必要度】

有効回答数482



問7理由

- (「必要」もしくは「おおむね必要」の理由)
- ・国道までの浸水により住宅や交通等に被害が及んでいたから。
 - ・大雨が降ると消防車が出動するのを記憶しているので、必要であったと思います。
 - ・新城川の踏切近くでの川の氾濫はひどかった。昔を知っている人は必要だと認識していると思います。
 - ・新城川は昔、大川といわれよく氾濫があったと聞いています。現在は流れも穏やかで、散歩やジョギングには良い場所です。
 - ・改修後、浸水被害が発生していない。
 - ・幼少の時、春先にはよく氾濫していたので、必要な事業であったと思います。
 - ・最近の自然災害は、今まで経験した事のないものが多く、大きな被害になる前に対策しておく事が大事だと思います。
- (「どちらとも言えない(わからない)」の理由)
- ・過去に洪水等の被害のあったことは知らないため。
 - ・今まで浸水被害にあった事がないので。
- (「あまり必要ではなかった」もしくは「必要ではなかった」の理由)
- ・その後効果があったと言う事を聞いたことない。

事後評価アンケート結果

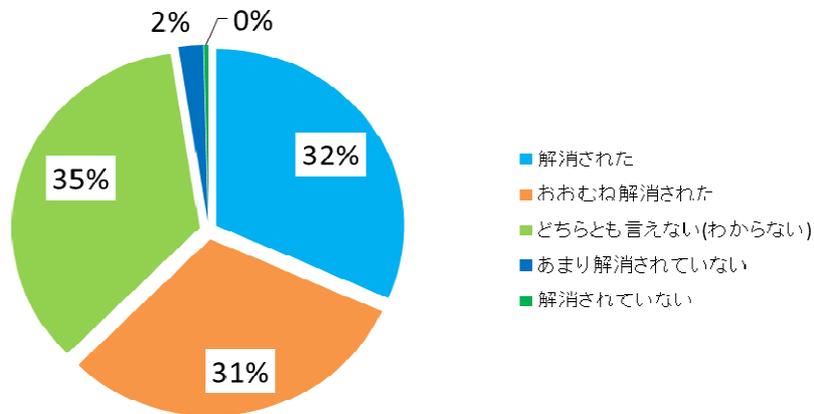
整理番号	H28 - 2
事業名	総合流域防災事業
箇所名等	新城川

アンケート結果

問8【達成度】

有効回答数479

問8 この事業が完了したことにより、洪水による浸水被害が解消されたと思いますか。



問8理由

(「解消」もしくは「おおむね解消」の理由)

- ・水田が被害を受けることがなくなった。
- ・ここ何年も道路に水があふれてこなくなったから。
- ・川が拡張され、水の流れが良くなったと思う。
- ・洪水がなくなった。
- ・洪水対策としては、工事前と工事後とは比較にならない位、改善されたと思う。
- ・雨の降り方にもよるだろうが、少なくともこの数年は水害が発生していないので。

(「どちらとも言えない(わからない)」の理由)

- ・自然災害はいつ来るかわからないから
- ・特別な大雨がなければ何とも言えない。
- ・水路の水があふれそうになっているので不安。

(「あまり解消されていない」もしくは「解消されていない」の理由)

- ・流れてくる土砂、雑木等が多いので、流れが悪い。

事後評価アンケート結果

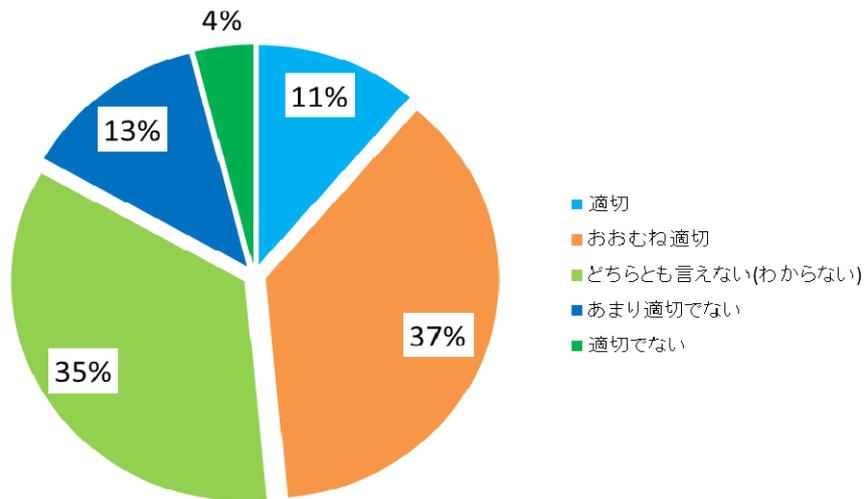
整理番号	H28 - 2
事業名	総合流域防災事業
箇所名等	新城川

アンケート結果

問9【管理状況】

有効回答数475

問9 この事業を実施した新城川は、青森県が管理しておりますが、管理は適切に行われていると思いますか。
※「管理」とは、壊れた施設の復旧や、河川の流れの支障となる土砂・雑木の撤去等のことです。



問9理由

(「適切」もしくは「おおむね適切」の理由)

- ・川をいつもきれいにしている。
- ・時々、土砂・雑木の撤去を実施していることが良い。
- ・最近大きな被害があった覚えがない。
- ・今迄被害がないから。
- ・景観が良くなってきている。

(「どちらとも言えない(わからない)」の理由)

- ・土砂、雑木等の撤去作業の期間を3~4年位にしてほしい。
- ・川の中に生えている木がだいぶ成長してきている
- ・土砂や雑木は気になります。雑草も気になります。

(「あまり適切ではない」もしくは「適切ではない」の理由)

- ・土砂、雑木、ゴミ等が非常に多い。
- ・雨で水量が増えた時に多くのゴミ等が流れて来るが、それらの撤去がほとんどなされていないようだから。

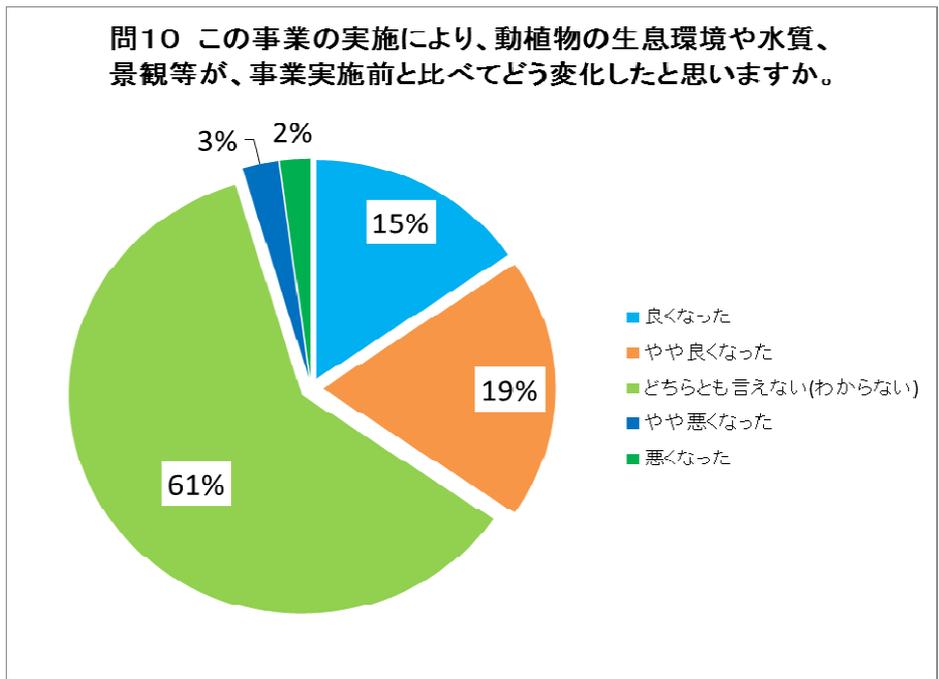
事後評価アンケート結果

整理番号	H28 - 2
事業名	総合流域防災事業
箇所名等	新城川

アンケート結果

問10【環境変化】

有効回答数479



問10理由

- (「良くなった」もしくは「やや良くなった」の理由)
- ・橋の上から見ると大きな魚がいたり、鳥がいたりしてる。きれいだからと思う。
 - ・特に野鳥が格段に増えました。
 - ・自然を感じる環境と思われる。
 - ・四季の変化を感じやすくなった。白鳥、鷺、川鶺、かも等の水鳥、鯉、鮭の観察等。
- (「どちらとも言えない(わからない)」の理由)
- ・過去の様子が解らない。
 - ・景観等は良くなったが、動植物の変化はわからない。
 - ・あまり変化がないように思う。
- (「やや悪くなった」もしくは「悪くなった」の理由)
- ・昔の様に釣りができなくなった。
 - ・昔は川で遊べたのに今は遊べない。木や草だらけなので。
 - ・昔は蟹がいっぱい取れてよく食べた。魚も多種多様であったが、今は期待できなくなってしまった。川底も浅くなっていると思う。

事後評価アンケート結果

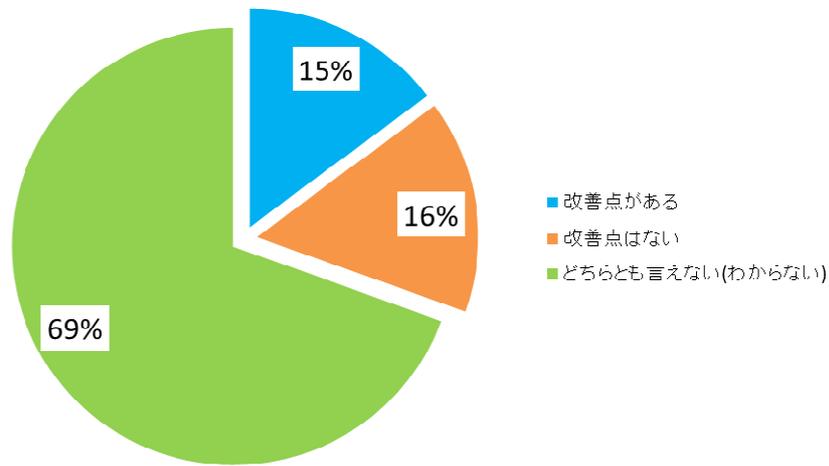
整理番号	H28 - 2		
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川

アンケート結果

問11【改善点】

有効回答数461

問11 この事業で行った工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。



問11理由

(「改善点がある」の理由)

- ・川の魚道をふやす。
- ・河川に対しての住民の意識向上の為に堤防上に遊歩道などを考えてほしい。
- ・できれば堤防部分をもう少し広するか、車止めて歩行者専用道にすれば地域住民の散歩コース(ジョギング等)で利用する人も増える。
- ・水質、景観は良好となったが、水に親しむ配慮に欠けている。親水の気持ちは景観の維持等の面からも大切だと思います。水遊び、釣り場等の設定が欲しい。

(「どちらとも言えない(わからない)」の理由)

- ・普段の生活の中で困ったことがないので、関心を寄せたことがない。
- ・その辺までは気にしていなかった。
- ・具体的にどんな工事をやったか、どんな施設が出来たかをよく知らない

(「改善点はない」の理由)

- ・水がスムーズに流れている。雨が降っても安心。
- ・おおむね改善する点はないのではないのでしょうか。ただ想定を超える雨量などの際は、絶対安心といえるのかどうかわかりません。
- ・特に悪いと思う所はありませんが、工事と別に側道の幅を車がすれ違い出来るよう広くしてもらえれば良いと思います。

事後評価アンケート結果

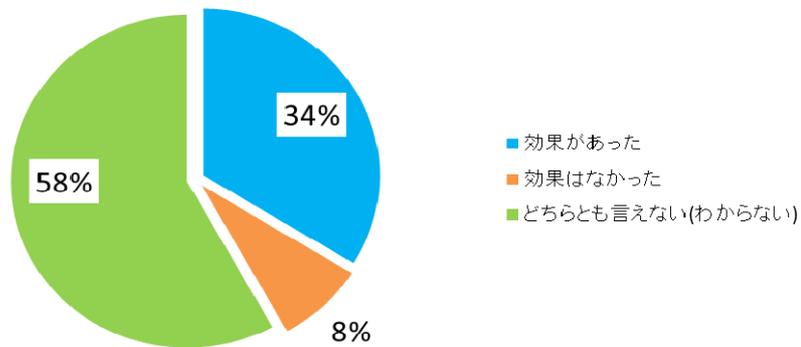
整理番号	H28 - 2		
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川

アンケート結果

問12【その他効果】

有効回答数467

問12 この事業を行ったことが地域活性化に結びついたなど、洪水による浸水被害の解消以外に効果があったと思いますか。



問12理由

(「効果があった」の理由)

- ・景観が良くなった。
- ・町内会の地域活性化につながったと思います。(花壇等)
- ・新城川をきれいにする活動に参加する人が多くなっていると思う。
- ・世代別にいろいろ住む人々の交替はあるが、地域住宅は増えている。また公共施設もそれに伴って、少しずつでも増えたり、改良されたり、良い効果に発展していると思う。

(「どちらとも言えない(わからない)」の理由)

- ・地域活性化とは別と思える。
- ・宅地化が進み、住人が増えたと思いますが、それ以外で活性化の実感はわかりません。
- ・地域の人達がどのような係りを持っていたのか、また、現在どのような係りを持っているのか分からない。

(「効果はない」の理由)

- ・そもそも浸水防止以外になにか別の目的があったのか？
- ・地元の雇用とかに結び付いた話は聞いていない。
- ・地域活性化と結び付く筋合いのものでもないかと思う。効果がないから悪いというつもりも無い。

事後評価アンケート結果

		整理番号	H28 - 2
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川

アンケート結果

問13【その他意見(アンケート対象事業)】

アンケート対象事業に対して、その他のご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・安全で安心して子供を遊ばせることができるようにしてほしい。(特に夏の暑い日に)
- ・無作為のアンケートとは思いますが、事業そのものについて、何もわからない者に解答は非常に難しいです。
- ・経年劣化もあることであり、通年に渡るメンテナンスが必要
- ・せっかくの事業実施ですので、もっと地域一般人の意見を聞き、事業発展と一般人とのコミュニケーションをとった方が良いアイデアが生まれると思います。
- ・アンケートによって新城川に関心が出た。もっときれいにして公園などにしてもよいと思った。
- ・もっと広報活動が必要ではないか(工事概要、浸水等の統計など)。
- ・このような長い事業期間の工事だとは思っていませんでした。今後は維持管理をしっかりやって欲しい。
- ・私はこの事業が行われていることすら知らなかったので、今回知ることができて良かった。
- ・家族で(子供でもよいが)川遊びのできるような箇所があってもよいと思うが(自分は幼少時によく新城川で遊んだものだ)。そういうものは危険とみなされるものでしょうか。
- ・新城川をきれいにする会で春の清掃が終わって稚魚の放流をしますが、川底が土砂で浅くなっているので土砂の撤去をした方がよいと思います。

問14【その他意見(公共事業全般)】

アンケート対象事業に限らず、公共事業についてご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・予算的な面で大変と思うが、住民の生活に直結する事業を率先して施工する様望みます
- ・県民が安全で安心して生活できるように、危険箇所を見つけ、工事して下さい。
- ・県外企業が県内に進出し、雇用が拡大するような、環境整備に予算を使用して欲しい。
- ・工事期間が長すぎる。事業効果の早期発現がなされていない。
- ・緊急性、必要性、予算で苦勞されておられるでしょうが、要望なくても、陽のあたる河川砂防行政をお願い申し上げます。
- ・予算を確保できるのであれば、各河川を吟味して各支流の堤防等のかさ上げをしていただき、洪水等の防止に努めていただきたい。
- ・県で管理する河川敷の雑木伐採を開放しては(薪づくりに限定)。
- ・大きな工事だけではなく小さな工事でもネットだけでなく、こういうアンケートのようなもので情報をわかりやすく提供してください。
- ・公共事業で地域活性化を期待するべきではなく、地域住民の安全な生活環境を最優先に計画して欲しい。
- ・色々な事業を行っているようですが、県の管轄なのか、市の管轄なのかわからない不便がある。

(別紙)

事後評価箇所状況写真

(1/2)

整理番号 H28 - 2

事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川
-----	----------	------	-----

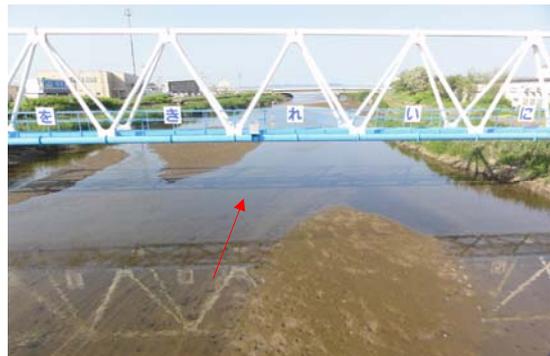
【状況写真】

○河口部

事業実施前の状況



事業実施後の状況



○JR奥羽本線より下流 (青森西高付近)

事業実施前の状況



事業実施後の状況



○JR奥羽本線より上流 (JR津軽新城駅付近)

事業実施前の状況



事業実施後の状況



(別紙)

事後評価箇所状況写真

(2/2)

整理番号	H28 - 2		
事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川

【被災写真】



昭和49年9月(国道280号付近)



平成14年8月(JR津軽新城駅付近)

【航空写真】



費用対効果分析説明資料

整理番号	H28 - 2
------	---------

事業名	総合流域防災事業	箇所名等	新城川
-----	----------	------	-----

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

算定については、『治水経済調査マニュアル(案)』(平成17年4月 国土交通省河川局)に基づき行った。
 本マニュアルにおいては、経済評価するうえで洪水氾濫被害の防止効果および整備した施設の評価対象期間終了後における価値を便益(B)とし、事業着手時点から完成に至るまでの総建設費と、評価対象期間内における維持管理費を費用(C)として、それぞれ現在価値化したものを評価することとしている。

2. 算定の前提条件

- (1) 評価基準年度:平成28年度
- (2) 評価期間:整備期間+施設完成後の評価期間(50年間)
- (3) 費用及び便益の現在価値:投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

3. 総費用(C)の算定

総費用(現在価値) = 36,913 百万円
 建設費及び維持管理費を年度別に設定し、現在価値化した

区分	総建設費	維持管理費	合計
事業費	10,208	-	-
現在価値化	32,598	4,315	36,913

単位:百万円

4. 総便益(B)の算定

総便益(現在価値) = 108,365 百万円 + 112 百万円 = 108,477 百万円

総便益算出根拠

想定氾濫区域における家屋・家庭用品・農作物・公共土木施設等の洪水氾濫被害が河川事業によって軽減される額を算定し、現在価値化した。
 また、整備した施設の評価対象期間終了後における価値(残存価値)を算定し、現在価値化した。

世帯数 (戸)	農漁家数 (戸)	水田面積 (ha)	畑面積 (ha)	事業所数	年平均被害軽減額 (百万円)	評価対象期間内被害軽減額 (百万円)	残存価値 (百万円)
1,360	50	240	0	171	3,987	108,365	112

【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益}) / C(\text{総費用}) = 108,477 \text{ 百万円} / 36,913 \text{ 百万円} = 2.94$$

【参考】

区分	主な項目	H20再評価時	事後評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 建設費	22,672 百万円	32,598 百万円	9,926 百万円
	(2) 維持管理費	3,034 百万円	4,315 百万円	1,281 百万円
	総費用	25,706 百万円	36,913 百万円	11,207 百万円
便益項目 (B)	(1) 治水	76,136 百万円	108,365 百万円	32,229 百万円
	(2) 残存価値	112 百万円	112 百万円	0 百万円
	総便益	76,248 百万円	108,477 百万円	32,229 百万円
B / C		2.97	2.94	